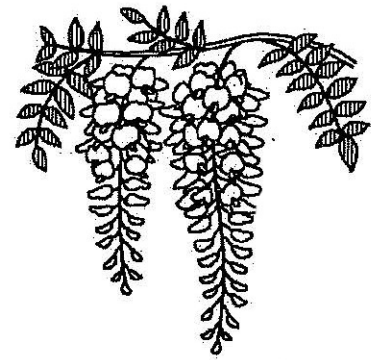


一、千鳥ちどりしばなく 安曇川あどがわの

流れ流ながれて ゆくところ

清きよき姿すがたを かがみにて

学まなびの道みちに いそしまん



三、高島山たかしまやまに 月落つきおちて

星ほしさえ見みえぬ 世よなりとも

心こころのとし かきたてて

強つよく明あかるく 進すすみなん

二、紫句むらさきう 藤波ふじなみの

花はなふさふさと 咲さくところ

良り知ようの学がくを 身みに受うけて

正ただしき道みちに 励はげみなん

